



サレジアン・シスターズ

Salesian Sisters

今、この現実の中で人々と共に生きる

身近な人から世界へ向けて

～ 国際ボランティアグループ VIDES JAPAN の取り組み ～

サレジアン・シスターズは、現在 97 カ国において、福音宣教、青少年教育、福祉、人権擁護、ボランティア活動などを特に青少年と共に行っています。今回は、その中でも国際ボランティアグループ VIDES、特に日本の VIDES JAPAN の取り組みについてご紹介します。イタリアで国際ボランティアとして発足して以降、現在は日本（1994 年）を含め 43 カ国で、ドン・ボスコの精神、サレジアンスタイルで、特に子ども、若者、女性の権利の促進と擁護に取り組んでいます。若者がボランティア活動を通して自身に潜む能力に気づき、人々の尊厳が大切にされる社会構築のため、誠実な社会人として行動しつつ、様々な状況に置かれた人々に寄り添って、特に弱い立場に置かれた人々の権利擁護と必要な支援活動などを行っています。

ラウダート・シ (LSGs) の取り組み

VIDES JAPAN においては、これまで「ラウダート・シ」に関する取り組みを特別に意識して活動をしたということではなく、すでにその要素をもって活動をしてきました。VIDES JAPAN では、特に国内外の様々な活動をしていますが、今回は、「ラウダート・シ」に関係する活動、なかでもコロナ禍の中で取り組んだ新たな活動をいくつか紹介します。

★「LSGs」貧しい人々の叫びへの応答：困難な状況に置かれている人々に寄り添う

①NPO 北関東医療相談会（アミーゴス）とのコラボ

2021 年、川口市やイグナチオ教会で、生活に困窮する外国人を対象とした医療相談会が行われました。アミーゴスや他団体は、専門家による医療支援・生活相談・法律相談・心理相談、通訳等の支援を行い、VIDES は、二十数名のボランティアが参加し、医療スタッフ（歯科医師）派遣、通訳、物資配布（衣類等）、食料配布、キッズ対応、

ランチ提供などを行いました。私たちのメンバーは、中高生から大学生、若い社会人、そしてお父さん・お母さん層の方々もいることから、豊かな人材とパワーもあります。みなそれぞれに委ねられた持ち場で心を込め、相手の必要を見ながら機敏に動いていました。これまで私たちの活動の中に、フリーマーケットや海外への物資支援などもありましたが、コロナ禍の影響からそれらの活動は中止されていました。そこで、今必要とされることに目を向け、何が出来るのかという発想に切り替えるようにしました。それらの物資を困窮する人たちに使っていただけるようにと、事前に他のメンバーたちも加わり、配布できる物資の仕分け作業なども行いました。当日、私たちは、同じ東京に住んでいながら、この人々の置かれている現実を知らないことを思い知らされました。前日から何も食べていない人、病気でもお金がないため病院に行けない現実、仮放免の現実など、胸が痛くなる思いでした。また予約の倍の人々が集まったことで、準備した食品や物資、ランチも途中でなくなってしまい、せめてお弁当だけでも、若いメンバーたちに近隣のお店でお弁当を短時間で 50 食以上かき集めてもらい配布しました。お弁当だけでももらいたいと多くの方が残って待っていました。しかし、あまりにも多かったため、配布できなかった人たちもいました。このアミーゴスとのコラボでのボランティア活動は、わたしたちの目を大きく開かせ、私たち自身の



生き方にも大きな影響を与えました。参加したメンバーは「参加してよかった。現実を知ることが出来た。またぜひ参加したい」と口々に言っていました。私たちは、一歩下がって見ているのではなく、一歩前に出て現実を見、知る事、また共に同じような思いを持っている人たちと協働していくが本当に重要だと痛感した体験でした。

②ありのままでいられる居場所づくり 「ハッピーハウス」

コロナ禍前のハッピーハウスには、週2回、地域の小学生や中高生、保護者がやってきて、みんなの居場所となっていました。しかし、コロナの影響を受け感染予防のため活動の休止をよぎなくされました。どのように子どもたちやその家族を支えていけるのか、絶えず悩みながら再開の道を模索し、2020年4月各家庭への食料支援を開始してそれぞれの家庭を見守ってきました。その後、キッチンカーを購入し、暖かい日は外で、寒い日には修道院の協力を得て、大きな部屋を借りて月1回集まることにしました。子どもたちや保護者の喜ぶ姿と互いに力をもらっている様子は一目瞭然でした。常にコロナの心配はありますが、出来る方法を探り、新しい発想で前に進んでいくことが出来たことに感謝します。



③スマイルキッチンカー

コロナ禍にあって、ハッピーハウス活動を再開できる道を探り、また様々な困窮にある人々のための支援活動を行う目的で、キッチンカーを購入し、“スマイルキッチンカー”として活動を開始しました。これまで星美ホームの子どもたちへのランチの提供を皮切りに、ハッピーハウス活動での食事やおやつ、そして星美学園短期大学の学生支援のためにランチの提供などを行ってきました。経済的にも精神的にも生活に影響を受けている学生を対象に、期間限定で、週1回200円のランチ販売をしました。栄養価もあり、ボリュームもある食事提供で学生からは大変喜ばれました。



★「LSGs」シンプルなライフスタイルの採用・エコロジカルな教育

①オンライン上映会 映画「マイクロプラスチックストーリー」・映画「THE PRICE OF FREE」

ユースメンバーはこれまで様々な活動をしてきましたが、このコロナ禍で活動が制限される中何ができるのかと話し合いました。この機会を学びの場にもしていきたいと各自関心を持っているテーマで発表したり、上映会を企画してきました。映画「マイクロプラスチックストーリー」では、プラスチック問題・環境問題について共に考え合う機会として、映画監督も参加していただき、質疑応答なども行い、皆で理解を深めました。映画「THE PRICE OF FREE」では、児童労働の現状について考える時をもち、背景に私たちの消費の仕方もあることなどを学び合いました。この上映会にシスターたちや関わりのある人たちも参加して良い分かち合いの場になりました。



私たちは、常に現実の中で、今、何が問われているのかということに敏感に reacting していきたいと願っています。